

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	進行非小細胞肺癌に対するPD-1阻害薬投与後の化学療法の有効性や安全性を検討する後方視的多施設研究
研究責任者	宮本信吾
研究機関名	日本赤十字社医療センター 化学療法科
研究目的と意義	進行/再発非小細胞肺癌を対象として、PD-1阻害薬投与後の次治療の化学療法が施行された試験群と前治療にPD-1阻害薬の投与を受けずに化学療法が施行されたコントロール群の奏効率を後方視的に比較し、PD-1阻害薬投与後の化学療法の有効性や安全性を検討する。
研究方法	<p>以下のすべての条件を満たすものに、電子カルテより情報を抽出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞診または組織診で非小細胞肺癌と診断されている症例。</li> <li>・TNM分類第7版に従い、臨床病期III期、IV期又は手術や放射線治療の根治的治療後に再発した症例。</li> <li>・1次治療として、細胞障害性抗癌薬が施行された症例。</li> <li>・2次治療として、</li> </ul> <p>1) 試験群:ニボルマブ又はペムブロリズマブが施行され、その次治療として、2015年12月1日から2017年7月31日までにドセタキセル単剤療法、ペメトレキセド単剤療法、S-1単剤療法又はドセタキセルとラムシルマブの併用療法が開始された症例。</p> <p>2) コントロール群:2014年4月1日から2017年7月31日までにドセタキセル単剤療法、ペメトレキセド単剤療法、S-1単剤療法又はドセタキセルとラムシルマブの併用療法が開始された症例。</p> <p>患者の氏名は参加施設からWJOGへ知らされることはない。</p> <p>患者の同定や照会は、登録時に発行される患者識別コード、イニシャル、性別、生年月日等を用いて行われ、患者名など、第三者が患者を容易に識別できる情報がWJOGデータベースに登録されることはない。患者識別コードとは、施設が患者情報を外部に提供する際に使用している番号(符号)のことをいう。</p> <p>登録を希望されない方は下記の問い合わせ先にご連絡ください。</p>
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 化学療法科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者:宮本信吾 TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604